66 号

なでしこ通信（関ブロ特集）

平成 30 年度　夏・秋合併号

今回のなでしこ通信は、まだ、余韻が冷めやまぬ関ブロ大会の特集を組むため、夏・秋合併号とさせてもらいました。

静岡らしさ、静岡流のおもてなしを満載した本大会は、里親さんをはじめ、市児相、常葉大学短期大学部等多くの関係者の皆様のご協力により、大成功のうちに終わることができました。

皆様、本当に有難うございました。

平成 30 年度 新しい里親さん紹介

養育里親登録	平成 30 年6月13日　駿河区里親ご夫妻
専門里親登録	平成 30 年6月13日　駿河区里母

平成 30 年度 表彰

おめでとうございます

関東甲信越静里親協議会会長賞表彰　　平成 30 年 7 月 8 日　　葵区里親ご夫妻

センター職員紹介

こんにちは。トマジ里絵です。

今年５月より里親家庭支援センターへ週２回、勤務させていただくようになりました。主に未委託里親フォローアップ研修を担当させていただきます。里親認定されたばかりの里親さんが、準備期間中にさまざまな研修やボランティア活動を通して力をつけ、里子委託を受けるその大事な時期にそばにいてかかわっていかれる事に私自身も大変やりがいを感じています。

また前年度から担当しているフォスタリング チェンジ・プログラムのファシリテータとしてもこの７月に２期目を終えたところです。まだまだ未熟ですが、里親の皆さんの声をよく聞いて、皆さんのそばで支援ができるよう心掛けていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

基　調　講　演

テーマ　　こどもが「ひとり」になれるとき　　養育ということ

講　　師：**評論家　芹沢　俊介　氏**

高齢で大勢の聴衆を前に長時間お話する事にあまり慣れていらっしゃらないご様子が伺われ、少し無理なお願いをしたかと気がもめましたが、先生は真摯に一生懸命お話くださり有難く思いました。

養育事典を読んだことのある者としては興味深く本の成り立ちがよくわかり、どのように考えを深めてテーマを決めていくのかという研究者の視点をお話くださり、感動いたしました。始めに、堅い話・論理的な話とおことわりがありましたが、確かに噛み砕いた面白く具体的な話ではなかったので、一部の方には難しく退屈だったのではないかと思われました。

しかし、このような大学レベルのお話は（大学で 1～2 年かけて話す内容）なかなか聞く機会がなく貴重だと思いました。

「こどもが一人になれる時」との演題には？？と思いましたがお話を聞くと、成るほどこれが養育の要・目指すところ、とズバリ言い現わされた言葉だとわかりました。自分の経験においても「本当にそうだ」と心におちました。そのためには、受け止め手としての存在価値の大切さ尊さを私たちは心の中にしっかり持って、使命を持ち子どもたちを養育していかなければと思います。

先の３月に独立した我が里子、家では笑顔も見せずありがとうの別れの挨拶もなく飛び立っていき、今日までなんだか首をもがかれたような虚しい思いでいました。５年前に不登校・無気力状態で来た子でした。でもこの子が必死で起き上がり、専門学校・アルバイトをやり遂げ国家資格を取得して就職。その後連絡もよこさずアパートで独り暮らしが出来ているのは立派に「ひとりになった」と言えるのだと思えました。あの子も必死で立ってはいるが、私も養育者としてはそれなりに受け止め手となりえたのではないかと、先生に褒めていただいたような気持ちでご講演をお聞きしました。

養育事典では、子どものことより、自分の生い立ちをまずされて涙し自分が立ち（まだ立ちきれていない自分を情けなく思いながら）他人の養育に生かしたいと里親をさせていただいてまいりました。今回このような機会に先生をお呼びしたいと口火を切り先生に御足労いただきましたが、本当にありがとうございました。これから生きていく宝になると思います。

里親　鈴木陽子

関ブロ特集

第１分科会

テーマ　「乳幼児を迎え入れて」
～愛着形成とそのための養育とは～

講師　　静岡県立こども病院名誉院長　北條　博厚氏

【ミニ講演会】（抜粋）～愛着形成を促す家庭の機能と役割～

家庭とは子どもにとって安全で、安心できる場所である。「共感的関わり」「了解的関わり」「即応的関わり」を大切に。子どもとの約束は必ず守る。可愛がるだけでなく家族の一員として位置づける。家族の人間関係、協力関係が大事。

子どもの基本的生活習慣や行動規範は親との関わり「ほめる（受容、承認)」「叱る（拒否、否定)」「見守る（冷却、あきらめさせる)」を通して身についていく。

【話題提供】静岡市の二人の里親による養育体験談

A 里父

今年、赤ちゃんを受託しました。里親仲間に「『ここにいていいんだよ』って声をかけて教えてあげてね」と教えていただいてから、たくさん泣いても赤ちゃんの気持ちによりそえるようになりました。静岡市には手を差し伸べてくれる人達が沢山います。

アメリカでは「オープンアダプション」という考え方が定着しています。日本でも里親・養子縁組のような色々な家族の形が、社会の中で特別な事なんかじゃなく一般的な事として認識されていけばと思います。

B 里母

実親と 3 年間交流経験があり、繊細かつ激しい性格の上の子への毎日の対応。新生児で受託し養子縁組した下の子への真実告知。性格も特徴も全く違うふたりの子どもの子育てに悩みながらも、家族に支えられながら全力投球する毎日を送っています。今後も児相やセンター、里親仲間に相談しながら家族とともに子どもと向き合っていきます。

【グループ討議】

地域の情報共有。各グループ大いに盛り上がりました。里親に国境はありませんでした(^^)/

【参加者の感想】

・北條先生の講演を聞いて、養育を始めた頃の原点に帰った。
・30 時間の乳児受託前研修がすごいと思った。
・グループ討議でいろいろな地域の特色を聞き、新しい視点を得ることができた・先輩里親、未受託里親、児相や施設職員と話ができて勉強になった。

関ブロ特集

第２分科会

テーマ　「ヴァインランドⅡとS―M社会能力検査を活用し
子どもたちが一人で生きていける力を考える」

講師　（一般社団法人）　障がい児成長支援協会　理事長　山内　康彦　氏

【Vineland―Ⅱを活用した里親・里子支援の実践報告】

静岡市児童相談所　判定係長　百瀬　大悟　氏

平成27年度、「里親と児相が定期的にかかわることができる、健診のようなシステムを‼」と里親家庭支援センターと協議し、他自治体の調査を経て、平成28年度から定期支援を検討、実施。平成29年度実績は、対象60名、実施38名、実施率63%でした。

静岡市児相：百瀬さん

【講演】

親亡き後も自立した生活ができる力を身につけることが就労にもつながる。今後、知的障害や発達障害の人たちの支援を行っていくためには、IQだけでなく適応行動を把握することが重要。

世界基準のアセスメントツール、ヴァインランドⅡには、自立した生活を送るために必要な“身につけさせたい適応能力や社会性等の具体的な内容”が全て書かれている。

①　コミュニケーション能力　②日常生活スキル　③社会性領域　④運動スキル領域⑤不適応行動領域の5つの領域から構成されている。

山内　康彦　先生

【検査用紙を使ってみました】

ヴァインランドの義務教育版『新版S－M社会能力検査』

①　身辺自立②移動③作業④意志交換（コミュニケーション）⑤集団参加⑥自己統制

自分が現在支援している子どもを想定して記入し、点数をつけました。

【参加者の感想】

・障がいの里子を養育している。全て実生活に沿っていた。
・児相と連携し、地元でもヴァインランドを活用したい。
・深く共鳴し、新たな見方ができるようになった。
・目から鱗のすごさに感動。もう一度先生のお話を聞きたい。
・本が出版されたら教えてほしい。
・施設でも取り入れたい。
・具体的な話、経験に基づく話で分かり易く惹きつけられた。

関ブロ特集

第３分科会

テーマ　“おとな”になりたい、“将来のことを考えてみたい”と思えるような自立支援
～小学校高学年からのキャリア・カウンセリング・プロジェクト（ＣＣＰ）～

講師　静岡大学 教育学部 准教授　井出智博 氏

ＣＣＰは子どもたちが、おとなになる厳しさだけでなく、おとなになることの楽しさや喜びを感じながら、おとなになる自分を想像し、自らの生き方や将来を思い描く体験を提供するプロジェクトです。

巣立つ間際になってからのスキル中心の自立支援ではなく、子どもたちの年齢・発達に応じた自立支援を、心理的な自立や自立に向けたレディネス（準備）という視点から考え、「自立とは何か」「社会的養護における自立の問題」「ＣＣＰ着想の背景」「ＣＣＰの理論」「ＣＣＰの実際」など、児童養護施設における６年間の実践や「お仕事フェスタ」の紹介も交えて、井出先生が**【講演】**してくださいました。関心が高い内容であり、井出先生のお話はとても聞きやすく、分かりやすかったと好評でした。

【話題提供】として静岡市の水元里親から、これまでに養育、担任した子どもたちの自立に関する体験談を紹介。そして、里親と子どもたちが早い時期から「自立」を意識し、肯定的に安心して取り扱うことができるようになるために、ＣＣＰを里親家庭で実施できないかという**【静岡市におけるＣＣＰ導入に向けての検討プロセス】**についても紹介しました。

後半はディスカッションの時間とし、「自立支援についてそれぞれの地域・家庭での現状や課題」「この分科会に対する思い」ほか、６人のグループで一人ずつ話していただきました。

【グループ討議】が始まった途端、皆さんの表情が生き生きとし、どのテーブルも盛り上がり♪　県外のお話を聞ける機会となり、地域の格差もあるのだと感じたり、皆さん、意識が高く、熱心で、「もっと深く話し合いたかった！」と ★☆彡

【参加者の感想】

・過去よりも未来に目を向ける発想はとても大切だと思う。
・里親会の取り組みの参考にしたい。
・将来のことについて体系化したものを学べて良かった。当市でもＣＣＰを取り入れたい。
・色んな県から集まり、初めて会う里親さん達と話せたのもとても良かった。
・グループ討議の時間がもっと欲しかった。

関ブロ特集

第４分科会

テーマ　「親子の関係改善により子どもが変わる、里親も変わる！
ーフォスタリングチェンジ・プログラム」
～静岡市里親家庭支援センターの実践報告から～

講　師　静岡福祉大学社会福祉学部　教授　相原　眞人　氏
報告者　NPO 法人静岡市里親家庭支援センター　アドバイザー　佐野　多恵子　氏

【講演】

「フォスタリングチェンジ　～その基本的考え方と枠組み～」（抜粋）

《子どもの学習の基本》
- 子どもの行動は学習によって体得される。
- 子どもの行動は報酬によって強化される。

《社会的養護下の子どもの特性》
- 大変深刻な虐待を経験していることが多い。
- 不適切な行動パターンを既に学習してしまっている。

《フォスタリングチェンジの基本的な考え方》子どもの良い点を発見し、褒め、適切な行動を促す。
- 子どもに肯定的な注目をするが、不適切な行動には注目しない。
- 子どもと一緒にいることを大切にする。
- ルールと明確な指示の重視

【実践報告】
- 社会的養護を必要としている子どもの置かれた状況
- ニーズと行動（困った行動に隠れた子どもの思い）
- 社会的学習理論（行動は学習されたもの→変えられる）
- アテンディング（10 分間の遊びで築く親子関係）
- クロージングラウンド（自分自身をケアする）
- H29 年度修了生の感想および質疑応答

【参加者の感想】
- 相原先生のお話は食事のコースに例えたり、言葉も分かり易く引き込まれた。
- 模擬セッションで具体的にイメージができた。
- できることからチャレンジしてみようと思った。
- 自分の地域でもフォスタリングを受けてみたい。
- 里親会でもやりたい。

第５分科会

テーマ　　「おしゃべりサロン in 静岡」

進 行 役 ： 静岡市里親会

内　　容

「いろんな里親さんと話がしたい、もっと喋りたい、他地域の情報を知りたい」と、いつも大会の帰りのバスの中でこんな会話になります。思う存分話して交流して、すっきりして帰ってもらいたと思いをこめておしゃべりサロンを企画しました。みんなで楽しいひとときを過ごしませんか。

参加者はいないのではないかと思いきや、27 名もの申込みがあり、みんな喋りたいんだなぁと思いました。そこで、前もって地域・夫婦・年齢などバラバラにして、たくさん話せるよう５～６人のグループ５つに分け、グループ別５色の折り紙を受付で渡し各グループには静岡市里親を入れ進行調整役としました。

開始５分前に「名前・所属・養育児童の年齢・自分の好きな所」を折り紙に書き込んで自己紹介に使えるようにしました。また、「サロンの約束」を回して承認をもらい、13 時 15 分スタート。静岡市里親会副会長の松浦さんより「静岡市のサロンについて」話して頂きました。（サロンの歴史と様子・静岡市 3 区に 1 軒ずつ・年 6 回・当番の持ち寄り昼食・会費・サロンの約束等）その後、各グループで簡単な自己紹介後、おしゃべり開始。

20 年以上のベテラン里親さん、〇〇里親会会長という方も多く養育児童も大きくなり措置後の面倒をみている方が何人もいらっしゃいました。

途中、清水区でお茶農家をやっている望月里親さんが丁寧にお茶を入れてくれて、お茶菓子とともに一服していただきました。その後、グループ替えをしてお喋りスタート。

何時間あっても話は尽きぬけど、参加者のみなさんは楽しかったようですっきりした顔で帰って行かれました。楽しいひとときを過ごせて良かったです。

≪参加者の感想≫

・自由に話せて良かった。　他の里親会の情報が得られた。
・率直な意見を聴けて良かった。
・ケーススタディをする機会が少ないので貴重な場だった。
・今後もこのような時間があったら嬉しい。
・また、参加したい。

子どもプログラム

託児 A　0 歳～2歳

保育者：保育支援グループすわん（6 名）
託児人数：午前 9 名　午後 10 名

0～2歳児　託児の様子

ママと離れてはじめは泣いていた子もしばらくすると、うつ伏せで足をパタパタ、ニコニコ。そのとなりではスースーと寝息を立てて寝ている子。
その空間だけ、外の喧騒をよそに静かにゆったりとした時間が流れていました。

託児 B　3歳～5歳　参加者：23 名

保育者：児童相談所職員 3 名
常葉大学短期大学部保育科長　鈴木久美子先生
講師 2 名　学生ボランティア 46 名

プログラムご協力者
・午前　音楽劇：ボランティア関根淳子さん
美加理さん（SPAC 所属）
演目：♪１１匹の猫&楽器を触ってみよう
・午後　つみきプログラム：つみきのそのさん
（株式会社 TRW　放課後等デイよつば所属）

音楽劇
みんなでお行儀よく座って見れましたね。

積み木プログラム
これ　全部積み木？なんです。
大人の背の高さより高く
みんなの力で積みあがりました

託児 B　参加した子供たちの感想です

♪ 音楽劇：いろんな楽器を見たよ。
いろんな楽器を触ってみたよ。
♪ 積み木：崩れちゃう！ドキドキ！でもみんなで積み上げたよ。
やったー！　楽しかった！

託児Ｃ　　外　出

小学生以上　参加児童 68 名

バス同乗：児童相談所職員　放課後等デイ　株式会社 TRW・合同会社 LIFE-WORKS の職員
常葉大学短期大学部保育科　学生ボランティア

現地合流：常葉大学短期大学部保育科　学生ボランティア　　合計２１７名

外出組は、A 班 B 班に分かれて　それぞれ A 班は、午前中日本平動物園　B 班は、午前中るくる、午後は交互入れ替え制で出かけました。

心配していた雨もあがり、ボランティアの学生さん・放課後等デイの職員さん・児童相談所職員と一緒にバスに乗ってグランシップを元気に出発🚌！

日本平動物園、るくるにそれぞれ常葉大学短期大学部保育科 1 年生の学生さんが待っていてくれ、合流。ペアを組んで、日本平動物園ではスタンプラリーをしながら回り、るくるではいろんなアトラクションの体験をして 1 日楽しく過ごしました。

出発時は緊張した表情のこどもたちも、グランシップに戻ってきた時にはすっかりグループの子ども達やボランティアの学生さんとなじみ、みんなのその表情から、楽しかったんだな～というのがよく伝わってきてこちらもうれしくなりました。

ボランティアの皆様、本当にお疲れさまでした。

日程　**A グループ**　10:00 グランシップ出発🚌→日本平動物園到着　ボランティアの学生さんと合流　スタンプラリー→昼　食→　13:00🚌るくるへ出発→るくる到着　ボランティアの学生さんと合流→るくるで活動→🚌グランシップ着

B グループ　10:00 グランシップ出発🚌→　るくる到着　ボランティアの学生さんと合流→昼　食→13:00 るくるを出発🚌→日本平動物園到着　ボランティアの学生さんと合流　スタンプラリー→日本平動物園を出発🚌→グランシップ着

日本平動物園

るくる

静岡市大会を振り返って～会場編

担当　　永田　正

今日は、待ちに待った静岡市大会の当日だ。会場のグランシップの前には多くの里親やボランティアの学生が集合していた。お早うと掛け合う朝の挨拶もなぜか弾んでいるように感じた。これから始まる大会を成功させようと言う気概が皆の顔に漲っていた。それぞれの持ち場に向かう人たちも浮き浮きしてステップを踏んでいるようだった。私の担当は、９階のメイン会場だった。

次々に会場入りする他県からの参加者に、“静岡にようこそ”と心の中で歓迎の言葉を送った。会場は超満員、どの顔も人のために尽くすと言う充実感が満ち溢れ、この会場で一緒に過ごせて本当に良かったと心から思った。いよいよ原田アナウンサーの司会で幕が開けた。真保会長の開会宣言で一気にヒートアップだ。オール静岡頑張るぜ！！次は静岡を代表する松浦副会長の里親信条の朗読だ。起立した参加者全員が基本理念から唱和して行く、里親になって本当に良かったと思う瞬間だ。次に静岡市の小長谷副市長にご祝辞を賜り、感謝と激励の言葉に一同感動の波に包み込まれてしまった。続いて眞保会長の挨拶だ。ユーモアの中にも里親の在り方をしっかり伝えてくれる。素晴らしい！！関東甲信越静の会長に就任されたのも納得である。

次は、表彰式だ。私と妻が代表で壇上に上がったが、上がったのではなく挙がってしまい、手と足が一緒に動きまるでロボットではと・・・？“無理もないか今まで表彰を受けたことないから・・”表彰式も何とか終わり、いよいよメインイベント評論家 芹沢俊介先生による、こどもが「ひとり」になれるときと題した基調講演です。こどもがひとりになれるにはどうすれば良いのかについて、分かり易い語り口お話ししてくださいました。我が子とだぶらせて聞き入ってしまった。素晴らしいお話でした。

今大会では、私共は引かれたレールの上をただ走っただけですが、大成功の中で次の開催地新潟県に無事引継ができたのは、ひとえに事務局の皆さんのご労苦があってこそだと思います。

皆さんに心から日本一美しい言葉を送ります。

“ありがとう”

静岡市大会を振り返って

本大会の準備は、平成 28 年 12 月から約 1 年半かけてじっくり練り上げ、静岡市らしいプラン（？）とすることができました。

基調講演の講師の選定については、本大会の運営役員でもある里親さんから「養育事典」の著者として有名な芹沢俊介氏の要望があり、29 年 12 月には、講師に来静してもらい、事前の打ち合わせをするという熱の入れよう。

分科会談義では、静岡市の特長を是非、折り込みたいと、市児相が平成 28 年度からモデル的に始めた「ヴァインランドⅡ」や当センターが 29 年度から始めた「フォスタリングチェンジ・プログラム」、そして、里親家庭向け導入のため、昨年 9 月から検討をしてきた「ＣＣＰ（キャリア･カウンセリング･プロジェクト）」を取り上げることになりました。さらに、里親さん同士、気軽にゆっくり話し合えるよう、「おしゃべりサロン」を設けました。これら分科会では、参加者が少しでもリラックスしてもらえるよう、各会場で飴やクッキーのおもてなし。その効果もあってか、グループ討議等がヒートアップ。

里親さんの手芸クラブが中心になって、大会参加者に刺し子の布巾を贈ろうというアイデアがだされ、多くの里親さんが 1 年かけて 500 枚作ってくれました。当日、参加された方々は、手提げ袋の中に入っていたこの刺し子の布巾に感動し、多くの方々からお礼の言葉をいただきました。

関ブロ会長表彰受賞者の贈り物にも、お茶所静岡として、製茶業を営む里親さんに美味しいお茶を用意してもらいました。

総合司会をお願いしたＳＢＳの原田亜弥子さんが里親さんを取材して作ったラジオ番組「幸せのカタチ～本物の親子 本当の親子～」のＣＤを会場で流そうという里親さんからの提案を受け、「日本放送文化賞準グランプリ」、「ギャラクシー賞優秀賞」、「日本放送基金賞最優秀賞」の受賞シーンも流そうと構想が膨らみ、それに映像制作のプロの里親さんが一肌脱いでくれ、式典会場での放映が実現しました。

今回の大会は、役員となった里親さんがシナリオや名簿作成を含めた企画・準備から資料作り、会場設営・撤去、当日のスタッフと、里親会主体の大会となりました。これまで、静岡市里親会の実力は高く評価されていますが、正に、今回の大会で実証されたと思います。

平成 30 年度　里親家庭支援センター理事会・通常総会

去る 6 月 12 日（火）9 時 30 分から児童相談所多目的室で、平成 30 年度第 1 回理事会、通常総会に続き、新役員による第 2 回理事会が開催されました。

第 1 回理事会、通常総会では、平成 29 年度決算関係、平成 30 年度予算関係、任期満了に伴う役員の選任について、審議いただき、無事、すべて承認をいただきました。

また、報告事項として、厚生労働省が「確かな絆をすべての子どもにー 里親委託と特別養子縁組に関する調査」報告書を去る 4 月 20 日に公表しましたが、その中に、静岡市の取組が取り上げられていましたので、そのことについて報告をさせていただきました。

続いて、新役員による理事会が開催され、正副理事長が選出されました。

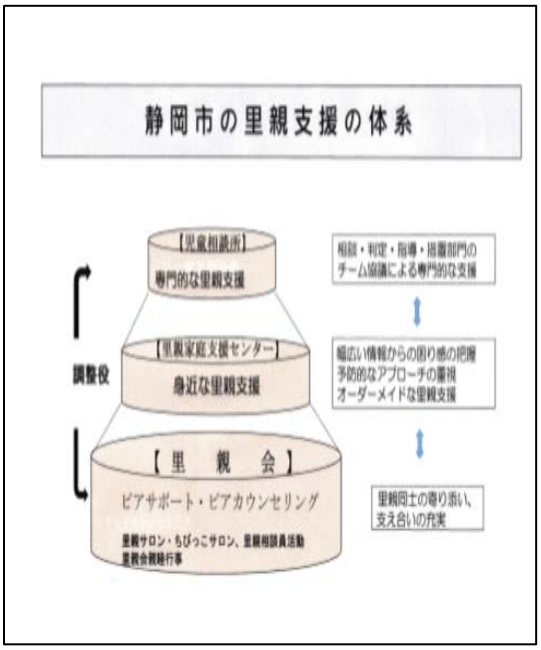
ご出席いただきました理事の皆様、会員の皆様には、ご審議を有難うございました。

平成 30 年度　里親会総会

平成 30 年 4 月 22 日（日）10 時から平成 30 年度里親会総会が開催されました。杉山友章新所長からあいさつをいただきましたが、杉山所長は、以前児相で勤務していた時に、支援センター立上げに関わり、随分骨を折ってくれそうで、これから、里親会にとっては、心強い味方になってくれそうです。

今回の総会では、里親会と支援センターとの関係がよく見えないという会員の声を受け、会長から支援センターがあることによって、ほかの地域では受けらないような手厚い支援を受けられることの説明があった後に、支援センター事務局長から里親支援の体系図（別紙）や業務連携の関係図を使って、支援センターが里親会と一体となった里親支援を行っている状況について説明がありました。

【　別　紙　】



スキルアップ研修

第1回 スキルアップ研修

「保護者のための特別支援教育講演会」

平成30年4月21日(土)　RSTビル
講師：山内康彦氏
参加者　里親7名　関係者4名
昨年度から始まりました児童相談所のお誕生日面接に使用されるヴァインランドⅡ応用行動尺度について、わかりやすく話していただきました。今回で4回目の研修となりましたが、毎回新しい情報が盛り込まれ、回を重ねるごとに山内先生の熱い話に引き込まれてしまいます。

山内先生が、個人相談にも応じてくださいました。
当日は高校生とその里親さんが、進路について先生の意見を伺いました。
「自分の好きなことや得意なことを伸ばせばいい」「いろいろな大学を調べてごらん」とアドバイスされ、視界が開けた瞬間でした。山内先生の現実的な言葉はまっすぐ子どもに届いたようでした。

第2回 スキルアップ研修

「ライフストーリーワーク」
　　―生い立ちの整理～
平成30年4月22日(日) アイセル21　4F研修室
講師：武庫川女子大学教授　才村眞理氏
参加者：里親　46名
　　外部　6名　児童相談所　11名
　　センター等6名　　計69名

参加者感想
真実告知の重要性、自分のルーツが大人になるまで必要となるものだと知りました。

ライフストーリーワークとは…

これまでの生い立ちを振り返り、不安や疑問を一つずつ整理することで、子どもたちは今の生活に納得し、自分が大切な存在だと気づきます。そして自分の人生の物語が繋がった時、誇りをもって未来の人生を考えることができるようになるのです。

そのためには里親さんや児童相談所の助けが必要です。また里親さんにとっても、過去を含めた子どものことを知り、自分自身のかかわりが、子どもの歴史の一部だと実感する機会となるでしょう。

第4. 5. 7回スキルアップ研修

「ケアプログラム」 ―こどもと大人の絆を深めるプログラム―

講師：静岡ホーム　　里親支援専門相談員　村松俊弥氏

　　静岡市児童談所　相談支援係　　篠田久美主事

①　６月１９日(火)　②６月２６日(火)　③７月１９日(木)

場所：静岡ホーム　10:00～12:00

全３回　シリーズ　参加者延べ人数　１４名

CARE(ケア)プログラムは、
子どもの落ち着きなさ、困った行動に日々悪戦苦闘している大人のためのプログラムです。
こどもとの関係を今よりもっと良好にし、子育てや子供とのかかわりがずっと楽になるスキルが詰まっているプログラムです。

内容：子どもとかかわる時に減らしたいスキル（命令、質問、禁止）
使いたいスキル（くり返し、言葉を言葉にする、具体的にほめる）

受講者の感想

・受けてよかった。・ほかの人にも是非受けてほしいと思った。
・いろんな年齢の子に使えそう。

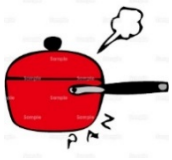
第8回スキルアップ研修 「お弁当をつくるよ」　参加者　里親子 4 組　計 12 名

平成30年7月31日（火） 10:00～12:00　場所：あいせる21　2F 食工房

子ども達の声

- 楽しかった。お家でもまた作りたい。
- 玉子焼きが難しかった。
- チョコパイ美味しかった。
- 洗い物頑張った。

第9回スキルアップ研修 「ティーンのためのクッキング 」



「具沢山トッピングそうめんで暑い夏を乗り切ろう！」

平成30年8月7日(火)10:00～12:00　場所：あいせる21　2F 食工房

講師：佐野容子先生

参加者　里親 6 名　こども 6 名　計 12 名

参加者の声

- 夏休み、家でも作ってみます。
- 楽しかった、次回も楽しみ。

皆様のご協力に感謝いたします　！

（平成 30 年 4 月 1 日～8 月 31 日）

正　会　員

杉山友章　佐野多恵子　遠藤みさ子　土方洋子　㈲港工業小澤武巨　柚木美乃　宮城島 豊
守屋　明　鳥羽　茂　福永博文　漆畑光時　大澤美恵子　眞子義秋　白鳥裕子　水元明美
眞保和彦　土屋直子　若月容子　西井秀明　鈴木陽子　久保田仁美　窪谷容子　松浦雅江
本田理恵子

個人賛助会員

高塚貞雄　望月秀樹　髙山鐘子　根生直子　小柳津君枝　浅井きみ江　内藤純代　宮城　隆
樋守嘉明　浅沼君子　長曽我部仲子　望月亜紗子　堀田道子　近藤孝邦　鈴木寛彦　齊藤和美
伊澤律子　青島加代子　宮澤貴子　天野英俊　近藤正子　近藤正美　青木久枝　山本智ひろ
北山和賀　木内幸枝　トマジ里絵　坂本雅江　村田久美子　安居院晶子　永井民子　西村　淳
朝倉妙子　佐野容子　古木秀子　佐々木希世子　寺尾美郷　長島可並　今村道子　塩坂弓子
石上輝子　外立昌子　土方洋子　匿名１件

団体賛助会員

中部機電ｻｰﾋﾞｽ㈱村本勝弘　㈲細澤建材興業　土方洋子(ﾙﾝﾋﾞﾆ保育園)　いしかわ歯科石川新次郎
三恵㈲望月 隆　春日保育園　社会福祉法人春風寮　㈱ｱｲﾜ不動産ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ　タカオ旅館
㈱ﾏｻﾞｰｸﾞｰｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ　医療社団法人マッキー　あゆみ保育園　㈱アクア　ゆりかご保育園
あゆみ第２こども園　沼上こども園

寄　付　者

東海ビバレッジ　望月秀樹　医療社団法人マッキー　眞保和彦・葉子　鈴木克美　安池康之
浅井きみ江　鈴木寛彦　守屋　明　伊澤律子　杉村宣行　坂本雅江　寺尾美郷　眞子義秋
本田理恵子　久應院　久保田仁美　近藤正子　鈴木寛彦　山田博久　鈴木陽子　匿名２件

敬称略・順不同で掲載させていただきました。

皆様から寄せられた会費や寄付金は、本センターが取り組む事業のために大切に使わせて頂きます。
今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

活動報告(4 月～8 月)

4 月 12 日（木）	静岡市里親会　役員会	静岡市児童相談所にて
4 月 15 日（日）	一年生お祝い会　　（里親会行事） 参加者　15 人	葵区　レストランにて
4 月 21 日（土）	第 1 回スキルアップ研修 「保護者のための特別支援教育後援会」 講師　障がい児成長支援協会　理事長　山内康彦氏 参加者　12 人	RST ビルにて
4 月 22 日（日）	静岡市里親会総会　　（里親会行事） 参加者　　86 人	アイセル 21 にて
4 月 22 日（日）	第 2 回スキルアップ研修 「ライフストーリーワーク　生い立ちの整理」 講師　才村　眞理氏 参加者　　63 人	アイセル 21 にて
4 月 27 日（金）	合同サロン 参加者　　18 人	静岡市児童相談所にて
5 月 11 日（金）	ちびっこサロン 参加者　　13 人	子育て支援センターにて
5 月 17 日（木）	リサイクル交換会（里親会行事） 参加者　　11 人	静岡市児童相談所にて
5 月 23 日（水）	里親サロン 参加者　　20 人	葵区にて
6 月 1 日（金）	清水区　民児協　出前講座 参加者　　99 人	はーとぴあ清水
6 月 6 日（水）	静岡ホーム懇談会 参加者　　22　人	静岡ホームにて
6 月 12 日（火）	静岡市里親家庭支援センター　理事会	静岡市児童相談所にて
6 月 19 日（火）	第 4 回スキルアップ研修 「CARE（ケア）プログラム①」 講師　静岡ホーム　里親支援専門相談員　村松　俊弥氏 参加者　　5 人	静岡ホームにて
6 月 26 日（火）	第 5 回スキルアップ研修 「CARE（ケア）プログラム②」 講師　静岡ホーム　里親支援専門相談員　村松　俊弥氏 参加者　　5 人	静岡ホームにて
6 月 28 日（木）	里親サロン 参加者　　19　人	駿河区にて
7 月 4 日（水）	未委託里親フォローアップ研修 「保健福祉センターってどんなところ」 参加者　　5 人	北部保健福祉センターにて
7 月 8 日（日）	第 64 回　関東甲信越静里親協議会　静岡市大会 参加者　　824 人　（ボランティア含む）	グランシップにて
7 月 11 日（水）	常葉大学短期大学部　保育科出前講座 参加者　　173　人	常葉大学短期大学部にて
7 月 13 日（金）	第 7 回スキルアップ研修 「CARE（ケア）プログラム③」 講師　静岡ホーム　里親支援専門相談員　村松　俊弥氏 参加者　4　人	静岡ホームにて

7月21日（土）	未委託里親フォローアップ研修 「子どものいる暮らしシュミレーション」 講師　静岡ホーム　里親支援専門相談員　村松　俊弥氏 参加者　　5　人	少年の家にて
7月24日（火）	養子縁組里親登録前研修 講師　静岡市児童相談所　支援第一係　　相磯主事 静岡市里親家庭支援センター　　根生主任 参加者　8人	静岡市児童相談所にて
7月25日（水）	ちびっこサロン 参加者　　13　人	常葉大学短期大学部にて
7月31日（火）	第8回スキルアップ研修 「おべんとう作ろう」 参加者　　10人	アイセル21にて
8月1日（水）	静岡乳児院　出前講座 参加者　　22人	静岡乳児院
8月2日（木）	第64回　関東甲信越静里親協議会　静岡市大会 実務者委員会　　反省会	静岡市児童相談所にて
8月7日（火）	第9回スキルアップ研修 「ティーンのためのクッキング」 講師　佐野容子氏 参加者　13　人	アイセル21にて
8月10日（金）	未委託里親フォローアップ研修 「こどもとあそぼう」 協力者　　10人	静岡市児童相談所にて
8月17日（金）	養育里親登録前・登録更新研修 講師　静岡市児童相談所職員 静岡市里親家庭支援センター職員 参加者　　47人	静岡市児童相談所にて
8月25日（土）	静岡市助産師会（出前講座） 参加者　　37人	静岡済生会

＜ 今後の予定 ＞

9月　9日（金）	静岡ふれあい広場	
9月14日（金）	静岡市里親会役員会（里親会）	
9月18日（火）	スキルアップ研修　（思春期）	（申込み受付中）
9月20日（木）	養子縁組里親登録前研修	
9月23日（日）	清水福祉まつり	
9月27日（木）	里親サロン　　清水区	（申込み受付中）
10月13日（土）	1日里親体験会	
10月14日（日）	**里親月間記念講演会**	**（申込み受付中）**

ボランティアの皆様のご協力に感謝いたします！

□　託児のご協力：常葉大学短期大学部保育科の先生、学生
　　㈱ＴＲＷ（放課後等デイサービス　よつば、よつば・あえる、よつば・にこる）、
　　㈲ＬＩＦＥ－ＷＯＲＫＳ（放課後等デイサービス　ＡＳＯＢＩＷＯＲＫＳ、ＭＡＮＡＢＩＷＯＲＫＳ）、静岡ホーム（里親支援専門相談員）村松俊弥氏

□　音楽劇：関根淳子氏「SPAC（静岡県舞台芸術センター）の俳優、劇団音乃屋主宰」
　　美加理さん「SPAC（静岡県舞台芸術センター）の俳優」

□　積み木：つみきのそのさん（㈱ＴＲＷ　放課後等デイサービス）

□　会場案内：石田勝也氏

□　分科会：青島加代子氏、大石紗希氏、山本恵氏、宮崎未知子氏、
　　山崎怜子氏

関ブロの静岡市大会につきまして、事故もなく、無事終えることができましたことは、一重に協力していただきました皆様のお蔭と、厚く御礼申し上げます。

編集後記

皆さん大変でした。よくぞ乗り切った今年の夏！

「殺人的」なんて怖ろしい形容詞がついた夏は初めてでした。

「なんで今、クーラーが壊れるの口」「夏風邪が治りません」「毎日プールです💀」など、センターにも里親さんの悲鳴のような諦めのような声が聞こえてきました。

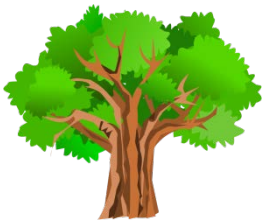
児童相談所でも、今年の夏は昨年よりかなり多くの相談が寄せられたそうで、職員の方たちも汗だくで出入りしていました。一時保護などに対応してくださった里親さんもいます。皆さんのチカラが子どもたちを支えていることを実感した夏でもありました。

さて、少しずつですが秋の気配を感じる今日この頃。

この夏を乗り越えて、私たちきっと逞しくなっているに違いありません。

健闘を称えて、自分へ、子どもへちょっとしたごほうびをあげてください。

そして、また元気に歩き始めましょう。



NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市堤町914番地の417（静岡市児童相談所内）
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　　望月　根生　髙山
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp